

---

# 麻生リトル・ラグーマン

---



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

## 「県大会を終えて」

副校長 古田 十

麻生ラグビースクールの平成 25 年度の県大会が終了しました。  
県大会を終えての感想ですが、「コーチが頼りない！（私も含めて）」  
子供達と真剣に向き合ったか？練習で手を抜かなかったか？ラグビーの楽しさを教えてスキルを上げられたか？

結果を見れば麻生はこんなものではないはずです。  
子供たちの能力に鑑みれば、横浜さん、田園さんは置いても、藤沢さん、鎌倉さんとは競ってもよかったです。

いくつかの学年の打ち上げで申し上げましたが、「勝ちの子供の成果、負けはコーチの責任」。

私が麻生で高学年を教えていた頃に先輩コーチに言われた言葉です。

当スクールは結果だけを求めるスクールではありません。

でも、やっぱり勝てなかったらおもしろくないよね？

平成 25 年度も終わろうとしています。

来年はもっと良いスクールに、再来年はもっと良いスクールにして行こうではありませんか。

コーチのみなさま、引き続きよろしく願いいたします。

## 『県大会』

DAGS コーチ 三沢 洋

夏の成果が良く出た県大会だった！  
春と比べれば見違えるチームになった！  
よく成長したが、結果は1勝しかできなかった！  
残念な結果かもしれない！  
でも全力を尽くした結果なら悔いは無いはず！  
この結果を3年生はこれからの人生に2年生と1年生は冬の先にある春の大会に必ず活かそう！

## 『最後の県大会』

DAGS 3年 室井 虹翔

今回、中学生生活最後の県大会でした。  
今回の県大会の結果は、10チーム中9位と最下位は、抜けられたものの最下位に近い結果で終わってしまいました。  
ですが、春から見れば良くなった点も多かったと思います。春の大会から合宿そして県大会と努力した結果は、試合にも少しずつではありますが出ていたと思いました。  
負けてしまった試合は、悔しかったです。1試合、1試合を大切に自分が持てる力を出せたと思います。

## 『県大会』

DAGS1年 伊藤 大吉

今年の県大会は、あまり印象に残るプレーが無かったです。Cチームの試合よりBチームの試合に出る事が多くなり、なかなか上手いかない事ばかりです。

これからは上級生と試合をしてもケガをしない体づくりと、大きい相手に正面であたれる自信を付けたいです。練習がんばります。

## 『ボールをもらうときに』

DAGS 1年 萩原 睦

今回の県大会では、あまりいい成績は残せなかったけど、どの試合も接戦だったと思うので、来年は1回でも多く勝てるようにがんばりたいです。そのために、僕は来年までに、走ってボールをもらうということを意識したいです。止まってボールをもらうと相手にタックルされやすいです。だから少しでも前にゲインできるようにしたいです。

## 『中学での県大会』

DAGS 1年 宮澤 朋輝

今年の県大会は、中学での初めての県大会でした。今年の県大会は、ボールを取るとき後ろから走りこんできてもらうことを頑張りました。最初はできていたけれど、あとになって疲れてくると、前の方でもらってしまうので、もっと意識し、さらに、体力を上げていかないといけないと感じました。

また、今年の県大会では、スタンドのほかに、第二センターとウイングをやりました。ニセンでは、スタンドの位置へ行こうとしたりしてしまった。ウイングでは、相手のキックの処理で、もたついてしまった。なのでこのポジションをやれと言われてもどこでもできるように頑張りたいです。

## 6年生



### 県大会を終えて

6年チーフコーチ 曾我 浩

私が、この1年間、6年生に期待していることは、「仲間を大切にすること」と、「一生懸命やること」です。このことは、ラグビーに限らず、勉強でも仕事でも、ずっと大切にしなければならないことだと思っております、そういう、私自身も、なかなかできないことです。

県大会の結果は、Aブロックで1勝3敗でした。同じ3敗だったとしても、もっとできたのではないかと思う気持ちは、子供たちに向けてのではなく、コーチ自身が受け止めなければならないと感じています。

相手チームの知り合いの人から、「麻生RSの6年生は、あれだけ気持ちの入ったタックルができる子がいるんだから、勝たせてあげるのがコーチの役目だ」と云われて、まさにそのとおりでした。

来年の3月には、ファイナルカップがあります。

去年、桐生RSが活躍したように、人数のせいによらず、「戦う気持ち」をひとりひとりがもっと持ち続けられるようなチームにしたいと思います。

練習に来る人数にかかわらず、1回、1回の練習を、それぞれの子供たちにとって価値あるものにします。

受験する子供たちには、ラグビーも勉強も「小さい戦い」の積み重ねなので、どうか、がんばってもらいたいと思います。

練習をするたびに、この麻生RS6年生たちと練習する回数が減っていくと思うと、さびしい気持ちになりますが、グラウンドにいる時間を大切に、ファイナルカップという次の目標に向かいます。

県大会前に、全員の子たちに手紙を書きました。

「努力は運を支配する」。元日本代表監督の宿沢さんが残した言葉です。

3月には、運を支配した麻生RS6年生を、ファイナルカップでお見せしたいと思います。

引き続き、応援よろしくお願いします。

## 6年生 最後の県大会を終えて

6年コーチ:外岡 幸隆

小学生最後の県大会、最強ブロックであろう「A」ブロックで、横浜A、田園A、横須賀A、グリーン・YCと対戦。結果は以下の通りです。

9/28(土) 等々力 横須賀A 49-14 ●  
10/ 6(日) 麻溝台 横浜A 82- 7 ●  
10/14(祝) 大津 グリーン・YC 22-35 ○  
11/ 4(祝) 日大稲城 田園A 63- 7 ●

この代は、人数が課題で、子供同士のコンタクト練習が少ない反省から、今年に入って、グリーン・YCとの合同練習を定例化したり、課題であった「接点でのファイト」、「前に出るディフェンス」、「キックオフキャッチ」などに対する課題克服メニューを取り入れ、練習を重ねてきました。残念ながらケガ人等の欠席者が多く、フルメンバーが練習・試合にそろうことは、マレでした。結果としては、1勝3敗ということでしたが、子供たちは、確実に成長しました。強豪スクール相手奪ったトライは、このチームの「強み」である相手のスペース(ブラインド等)を突いたり、快速バックスを走らせたりと、実に堂々としたプレイでした。最後まで課題として残ったことは、「戦うハート」です。試合前に、三浦校長より、オレンジジャージを手渡す儀式を設けたり、試合開始直前にガチンコ生タックルを行う等の工夫も試みましたが、15分x2、「戦うハート」を持続することができませんでした。試合後のアフターマッチ・ファンクションで複数のレフリーから、点差がつくレベル差はなかったとコメントがありましたが、「ハート」が持続している時間帯は「戦え」、「ハート」が折れている時間帯に失点を重ねているという結果だったと思います。受験生が帰ってくる2月から、もう一度、全員が「戦うハート」に火をつけ、「戦うチーム」を造り上げ、神奈川ファイナルカップで、麻生「オレンジ旋風」を巻き起こしましょう！

## 最後の県大会でのやくめ

6年 海老原 翔空

僕はこの最後の県大会で 自分の役目は素早くパスをまわすことだと思い、頑張りました。あと一つ、みんなを盛り上げたり フォローすることです。僕はそこは、あまり出来なかったと思いますが、ファイナルカップがあるので、そこで全力をだしてみんなを盛り上げていきたいです！！早くラグビーしてえ。

## 県大会を振り返って

6年 炎のタックラー 小野 航大

なんとなく始まった県大会、昨年と同じように全部負けなければ良いな~という中途半端な気持ちで臨みました。

初戦の横須賀戦は、突っ込んでくる気迫に押され低いくことを怖がりハイタックルし、ペナルティをよく取られそれが失点につながった。

2戦目で横浜と対戦してどのくらい戦えるかと期待したが、パスのスピードが速まったくついていけなかった。

3戦目、グリーンには絶対に負けたくないという気持ちで戦った。競り合った試合の中、後半の優(熊谷くん)のトライで勝ると確信、チームにも勢いがでた。今季初勝利2年ぶりの勝利。今年は全敗ではない！！

最終戦。絶対勝ちたい、もっとも嫌いな田園戦、チームは勝てると思って臨んだが結果は大敗。1勝3敗。でも自分の中では3勝1敗。横浜以外には自分の中では勝っていた。

ファイナルカップでは田園と当たったら倍返しと麻生流のおもてなしをします。

## 最後の県大会

6年 齋藤 裕人

「ピピー」ホイッスルが鳴って県大会最後の試合が始まった。相手は田園。僕の中では一番戦いたくない相手で、一番戦いたい相手だった。試合が始まってすぐに点を取った。すごく嬉しくてみんなはしゃいでいた。けれど、田園は強くてすぐに点を取り返され、その勢いで一気に点を取られた。それでも押えて田園と激しくぶつかり合っていた。結果は1-9で負けてしまった。僕は泣いていた。でも良い試合ができたと思った。

県大会の結果は1勝3敗だった。悔しい思いもしたけど、でも楽しむこともできた。次は本当に最後となるファイナルカップがある。県大会以上の力を発揮したいと思う。

## 「課題の気持ち・課題のタックル」

6年 森田 恵一朗

小学生最後の県大会だった。今年が一番の課題は気持ちを強く持つことだった。コーチ達に言われ続け、全員、最後の田園戦は強い気持ちを出せたと思う。田園戦の前に三浦校長に「タックルして来い」と言われ、皆で気持ちを高めた結果だと思う。

自分自身はタックルができなくて後ろにいる孝樹をたよってしまった場面が何度もあった。また、自分が早く出すぎて抜かれる場面もたくさんあった。ファイナルカップでは孝樹にたよらないで良いようにタックルを決めたい。

バイスキャプテンとして皆の足を引っ張らないようにがんばりたい。

## 県大会を振り返って

6年 山崎 太凱

ぼくは県大会で一番意識していたのはノックオンしないという事です。ふつうの人から見たらいつも考えていることだと思います。だけど僕は毎回ノックオンをたくさんしてしまうので、ハンズアップを意識するようになりました。今までよりはノックオンが減ったと思います。

一番残念だったのは、トライが一つもとれなかったという事です。だからファイナルカップに向けて、練習でも声をたくさん出して、チャンスでパスをもらえるようにしてトライを決めたいと思います。

## 「痛み」

6年 齋藤裕人の母

麻生ラグビースクールの皆様、いつもお世話になります。

最後の県大会が終わりました。県大会3試合目の後半。裕人が頭をぶつけ立ち上がった時もふらついていました。いつもなら「痛くない！」と怒鳴る私でしたが、クラッシュャーズの練習中に私自身が顔をぶつけてから「痛くない！」は言わないと決めていました。

メンバーチェンジして戻ってきた裕人は泣きながら「出たくなかった…」と繰り返言っていました。試合を続けたかった裕人…。私は裕人から離れました。裕人は試合に戻っていきました。「痛み」を乗り越えた裕人。以前だったら戻ることはなかったと思います。

強くなりました。わが子の成長を見られるのはうれしいことですが、親離れを感じたひと時でした。ずっと鬼母の私でした。口うるさい母でした。ファイナルカップでは何も言わず見守りたいと思います。そして全ての試合が終わったらたくさん、たくさん褒めてあげようと思います。

## 「ミニ合宿を経て」

6年 森田 恵一朗母 森田 康恵

まったく練習に参加できなかった夏休み。県大会出場はもう無理かもしれないと本当に思いました。ところが2学期も始まった最初の土日で行われたミニ合宿では生き生きと練習する恵一朗の姿があり、県大会出場へ向けての光が見えました。

県内の強豪チーム相手に恵一朗自身は1.5試合への出場+1試合の応援になりましたが、6年間一緒に練習してきた仲間たちと小学校最後の県大会へ出場でき、諦めずに頑張ってきてよかったと思いました。

応援となった試合では1勝を収め、仲間たちの粘り強く闘う姿を目に焼き付けることができました。最後の田園戦でも結果はどうかあれ、精神力を維持して頑張れたと思います。

人数が少ない学年であるのに練習でもなかなか全員が集まらず、常連組の子供達には本当に心細い思いをさせていると思っています。せめてファイナルカップに向けては2月から全員が練習に参加し、県大会以上のチームワークで試合に臨んでもらいたいと思います。コーチの皆様、引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。

県大会を振り返って

山崎 太凱父

格上のチームとの対戦の中で、結果として点数では負けてしまいましたが、一人一人の「ひたむきさ」が伝わってくるような試合を見せてもらいました。とても素晴らしかったと思います。ちょっと感動しました。

麻生のみんなはこの「ひたむきさ」では他のチームにも負けていないと思います。でもこれを「絶対勝ちたいと思う気持ち」に変えていくことで、勝つために何をすればいいかを今以上に考えられるようになり、本当に勝てる「チーム」になれるんじゃないかと思っています。

ファイナルカップに向けて、まずは「絶対に勝ちたい」と意識して個人のスキルアップをしよう！そして来年全員集合した時に「このチームで勝ちたい」とみんなが思い、そして勝とう！

5年生



(後列)日笠壮太 津国千智 熊谷祥 本田昂大 阿部凌大 萬場康生 千秋武尊 太田圭吾 宮坂瑛人  
米元悠翔 児玉翔梧 奥川朝陽 野田怜佑 小坂海歩

(前列)芝田悠馬 角田翔 飯島亮太 野村雄亮 安藤雄也 上田武蔵 吉田隼輔 横尾瑛 原田健匠  
山内太郎 齋川夏央

「県大会を終えて」

5年チーフコーチ 山本 慎一

結果 A チーム3勝1敗 B チーム2勝1敗 2チームとも2位でした。今年は、どの試合も競った試合が多く、実力が拮抗していました。

勝った試合は、先制し、追い上げられ、突き放すパターン。負けた試合は、先制され、追い上げ、突き放されるパターン。

昨年は、追い上げて逆転できる力がありましたが、今年はそのままでできませんでした。結局は、勝ったチームが強いということです。

反省すべきところは反省し、来年こそは、必ず2チームを優勝させたいと思います。

引き続きご支援の程宜しくお願いします。

「県大会を終えて」

5年 日笠 壮太

県大会でゆう勝できなくて残念でとてもくやしかった。

負けたのは、ディフェンスラインができていなくて、トライを取られるのが多かったからだと思う。

でも、今年はタックルを低く入って人をたおすことが多くできたと思う。



だから、これからも低く入って人をたおしていきたい。

来年は、ディフェンスラインを気を付けて、県大会もファイナルカップもゆう勝したい。

### 「くやしかった県大会」

5年 齋川 夏央

今年の県大会はぼくはウイングでした。いっしょうけんめいタックルに行ったけど何回かめかれてしまいました。練習で出来ないプレーは試合でも出来ないの、いっぱい練習して試合で必ず止めるようにしたいです。

今年は1本トライがとれたけど、来年には最後の県大会なので、もっとトライをしてぜったいにゆう勝したいです。

### 「悔しかった県大会」

5年 山内 太郎

田園に負けたけどディフェンスが上手になったのでこれからもいかしたい。

ウイングとして声を出したけど、みんなに届かなかったから、更に気合い声を出して頑張りたい。

### 『県大会』

5年 横尾 瑛

全勝優勝できなくて悔しいです。もっと練習して、来年は最終学年なので全勝優勝したいです。

「三度目の正直で今度こそ優勝する」

5年 小坂 海歩

私は去年の県大会で優勝できませんでした。それで、今年こそは優勝したいと思ってました。

しかし、今年も準優勝でした。

自分は最後の試合で2トライできました、だから負けた田園戦の時もう1、2本はトライをとれたかなと、今になって思います。

だから、来年は1試合3本トライをすることを目標にして、普段の練習からやっていきたいと思います。

来年は絶対に全勝優勝をします

### 「来年こそ！」

5年 上田 武蔵

今年の県大会の個人的な目標は、「積極的にプレーをする」でした。

今年の県大会のうち、70%は出来たと思います。

しかし、タックルをはずしてしまったり、ボールを持って積極的にいけなかった時もあったので、そこを来年までに修正したいです。

チームとしては、初めはまとまりがなかったのですが、県大会までにはだいぶ結束力が固まってきたので、よかったと思います。

また来年、新しいチームになっても頑張りたいです。

### 『県大会』

5年 安藤 雄也

ぼくの県大会の目標は、『逃げないプレーをする』『チームをはげます声かけをする』でした。

相手がボールをもったとき、相手に正面からタックルでき、オフェンスの時、チームのみんなが遅れても自分がポイントにすばやくついくことが出来たと思います。また、得点が決まったあとの、チームを盛り上げる声かけも積極的に出来ました。

5年 A チームは、1敗して優勝出来なかったけど、最後の鎌倉戦で勝つことが出来て、チームみんなですべて笑って終わったのでうれしかったです。

来年は優勝出来るように、練習をもっとがんばりたいと思います。

## 4 年生



弘太郎

3列目: 昂生・光平・太陽・洸琉・昂輝・京弥・優来

2列目: 茉奈実・佑・知己・快・豊夢

1列目: 正剛・樹・銀次・起

### 県大会を振り返って

4 年チーフコーチ 濱田 正行

4 年生は 2 回目の県大会です。

今年のチームは年明けからの良い調子を維持できず、春以降落ち込みましたがその後の夏合宿では天候にも恵まれ非常に良い練習も出来、結果として全勝で終了し、県大会へ向けて期待のできる状態になりました。

今回の県大会では結果としては A チーム 1 勝 3 敗、B チーム 1 勝 3 敗となり、去年の 1 勝 5 敗 1 分けと比べると若干良くなっています。

チームのレベルは非常に上がっており、勝負には敗れましたが他チームとの力の差は少なくなってきたと思います。

夏合宿前位に入校した池田コウキは今までのメンバーと変わらないプレーをしてくれました。最近入校のトムは本人も心配な顔をしながら県大会に参加しましたが随所に光るプレーを見せてくれました。二人共、今後が楽しみです。

夏合宿以降にキャプテンを担当してくれたユラ・カイはしっかり責任感を持って対応してくれていました。(もしかすると二入は試合よりアフターマッチファンクションでのコメントの方が緊張していたかも知れませんが(^。^))

ヒカルもチーム全体のキャプテンとして引っ張って行ってくれました。

反省点は沢山あります。技術的な所は引き続き技術コーチを中心に練習していきます。また、これからも練習中からしっかり「声」を出せるチームにして行きます。

練習中も含めて子供達は非常に仲が良いようです。

今後も辛い練習がありますがその中で助け合える関係になって欲しいと思います。  
コーチ・父兄の皆様！今後共、ご協力をお願いします。

### 「ラグビー力」を身に付ける！

注)ラグビー力(斎川造語): チームみんながラグビーで必要なスキルを身に付ける為に、練習した成果の結集

4年 コーチ 斎川 宏

2013年「県大会」の対戦相手は、昨年同様全て「Aチーム」(グリーン、大和、横浜は選抜メンバーであると、相手コーチが明言されていました。残りの1チームはYC)。

たとえ対戦相手がどこであろうと、「ようし、今年こそ優勝だ！」・・・結果は1勝3敗。優勝には程遠い戦績でしたが、全般的には悪くなかったと思っています(勿論この戦績に甘んじてはいません)。正直、私自身も県大会で勝ちたいと強く思っていますが、子供達が去年に比べ成長している事、一戦一戦内容が良くなって行った事は、勝敗と等しく重要だと思っています。綺麗ごとではなく、次に必ず繋がるからです。

ゲーム内容を振り返ってみれば、初戦はトライがとれず点差は開きましたが、「麻生の時間帯」も結構あり十分戦っていました。ただ被トライのパターンが決まっており、ケアしたにも拘わらず止められなかったのは、コーチングの不徹底が原因です。3、4戦目も敗れましたが、去年の様な完敗という内容ではなく、勝っているプレイも多々有り、戦局面では五分とは言えずともかなり戦っていました(特に3戦目)。しかしながら、一進一退を繰り返しつつトライを重ねられてしまうのは、現状の「実力差」であると認めざるを得ません。これは、気持ちだとか、集中力だとか、責任感だとかの精神的なものではなく、「ラグビー力」でのみでしか覆せません。ともあれ、その差は大きくありません。この「ラグビー力」は県大会や試合に勝つ事の為ではなく、一人ひとりの日々の成長(目に見えないレベルで良いです)を目指す事に依って培われると信じています。

我々コーチも、5年生からは9人制となるにあたって自戒しておきたいのは、「出来る子に寄り掛かっているチームは勝てない！」という事実です。自分達より強いチームに勝つ為には、グラウンドにいる全員でのチームプレイが不可欠です。毎週の練習で積み重ねた成果を大切に、それを結果として出して上げる事ができれば良いなあ。

### 県大会を終えて

4年サブチーフコーチ 野田 卓人

1年間目標として頑張ってきた県大会が終わりました。試合の勝敗だけで見ると満足出来ないかもしれませんが、でも、試合の内容はどうだったでしょうか。3年生の県大会では緊張からか思うように体が動かなかったり、いつもできていることができなくて悔しがっている子が多かったです。今年はやろうとしたプレイは出来ていたのではないのでしょうか。アフターマッチファンクションでも相手チームやレフリーからたくさんほめてもらえました。決してお世辞ではないと思います。コーチが見ていても非常に感動した試合がありました。

でも、やっぱり試合は勝ちたいですね。5年生からは9人制です。プレイの幅も広がります。ますますチームワークが要求されます。今年の県大会でコーチたちは課題を見つけました。一生懸命練習して来年は優勝しよう！

### 「県大会の反省」

4年 神下 弘太郎

今年あまり良い結果が出なかったです。

第一戦川崎戦は、夏合宿のせいかうまく出て勝ちました。夏合宿の自分の目標は「タックルがきれいに入るようにする」でした。それは、夏合宿でよくなったあと、この県大会でそれ以上に良くなったと思います。

第二戦横浜戦は学校行事で試合に出れず、第三戦横須賀戦に本調子ではないまま臨みました。結果は惨々たる物でした。僕たちは、タックルのあとのポジション移動、モールへの働きかけが足りず、その上相

手のフォローが早く、追いつけずに得点を許してしまいました。横須賀は、モールへの働きかけも強く、バックラインをちゃんとひけているので、凄いと思いました。

第四戦田園戦は第三戦で出来なかった所を、修正できず、負けてしまいました。相手に当たり負け、そして走り抜きされてしまいました。まず相手のパス回しが早く、ボールを追っていくとセンターに走りぬきされて、またも簡単に得点をゆるしてしまいました。このことで、僕はまだタックルが甘いこと、チームは全体的にフォロー(バックディフェンス)が出来ていないことがわかりました。これからの目標は、「タックルをちゃんとしてトイメンをまずしっかりとめる。しかし、それでもパスが続いてしまったら、バックディフェンスになるべく早く走って相手のフォローを止める。そして自分たちも攻撃の時のフォローを頑張る。」です。

これらのことを生かして、来年のこれからも頑張ります。

最後にコーチへ、来年の県大会は必ず勝ちたいので、僕は、厳しくても頑張りますので、横須賀や田園にも勝てる指導して下さい。来年こそ、横須賀や田園にも負けたくないようになります。これからもよろしくおねがいします。

絶対勝つぞ、オー!!

#### 県大会

4年 京屋 光琉

対戦相手のチームのいいプレーを真似して自分たちが強くなって来年は、もっと勝ちたい。

たとえば、田園のすきまを抜けるプレー。

横須賀のラックやモールから早くボールを出すこと。

自分たちも真似したい。

来年は9人制になって少しむずかしくなりそうだけど、強くなって県大会で勝ちたい。

#### 県大会が終わって

4年小高 佑

今年も県大会でゆう勝できなかった。

ボールのうばいあいになってフォアードに入るかボックスに入るかもっと早くきめるよう練習をして、来年にはそのことができるようにして県大会で勝てるようにしたいです。

#### 県大会を終えて...

4年 坂脇 優来

私はラグビーを始めてから、今回初めてキャプテンをしました。初めてなので、とてもドキドキしました。特にきんちょうしていたのは、試合の後に話す時でした。きんちょうしたけど、がんばってキャプテンをしてよかったし、キャプテンはどういうことをするのか、どのくらい大へんなのかということであらためて知りました。

これからもチームワークを大切に、キャプテンの指示にしたがって、いいプレイをしていきたいです。

今回、県大会を休んでしまった時には、チームが協力してがんばってくれたことをとてもうれしく感じました。

もしもこれから先、キャプテンをしたら、今よりもはずかしからず、ゆう気を持って、力強くチームを引っばっていき、大きな声を出していきたいです。

県大会でできていないプレイがあったら、今のうちにしゅうせいをして、いい試合をしたいなと思っています。

もし試合に負けたとしても、くじけずに前へと進んでいきたいです。これからも一つ一つのプレイを大切に、がんばっていきたいです。

#### 今年の県大会

4年 原田 太陽

今年の県大会では1勝3敗と負けた数の方が多く、くやしく思っています。

その中の原因の一つはハンドリングミスだったと思います。今年はあまりいいパスも回せず終わってし

まったので、来年はしょうきょうをよくはんだんしてボールを回して戦っていきたいです。

#### 今年の県大会

4年 宮澤 樹

今年の県大会は、四試合やって、一回勝ちました。勝った相手は、二試合目の YC です。去年は、一勝もできなかったの、一勝できただけでもすごくうれしいです。

県大会で、できたことは、パスや、トライです。

できなかったことは、タックルです。なので、こんどは、もっとタックルを練習して、うまくなりたいです。

来年の目標は、タックルミスをしなくて、トライをたくさんして、パスもしっかりつなぐことです。

#### 新しい目標

4年 萩原 起

県大会の結果は1勝三敗でした。目標としていたタックルは、よく入れるようになってきました。だけどまだ入れないことが多いのでタックルは、またがんばっていききたいです。県大会が終わって新しい目標ができました。それは、きき手とぎゃくの手のパスです。きき手の方のパスはちゃんとパスがとおるけど、きき手と逆の手のパスは、とばないし命中がわるいからです。ハーフだから、パスはちゃんとどっちの手の方でもうまく投げられるようにしたいです。

#### 県大会を終えて

4年 竹川 正剛

今年は1勝しか出来ませんでした。

原因は、タックルとボールへの執着心が足りなかったから負けたと思います。これからは1つの練習でも目標を持ってやりたいと思います。たとえば400m走でも今日は5位以内に入るぞとか、試合では1トライするぞとか1ゴールするぞ、タックルするぞというように目標を持っていききたいと思います。

それで来年は絶対にゆう勝という大きな目標を持って県大会に行けるように1年間がんばりたいです。

ちなみに夢はダンカーターみたいなスタンドオフになりたいです。

#### キャプテンとして

4年 無田 快

僕はキャプテンとして、県大会で1勝3負でくやしかったです。

チームの仲間の顔を見たらもっとくやしくなりました。

来年は優勝めざしてがんばります。

そのためにタックル・パス・ダッシュの練習をします。

#### けん大会

4年 都留 光平

ぼくは、試合で思うようにならないと、カッときてパスやタックルができませんでした。特に2試合目の横浜戦ではそうでした。来年はこのくせを直したいです。

よかったのは、コンバージョンができたことです。去年は一度もできなかったのととてもうれしかったです。

#### けん大会

4年 都留 茉奈実

私が今年の県大会でできなかったことは「タックル」です。

相手にだきつき止める事はできるけど、こしにいつて相手をたおす事ができませんでした。また、オーバーもできませんでした。

しかしできた事もあります。それは「声かけ」と「ボールを持って走る」という事です。「声かけ」はできていたけれど、前までは、ボールを持ったら、すぐ後ろをふりむくかパスをまわすかのどちらかでした。「ボ-

ルを持って走る」は初めてできてうれしかったです。  
次回は県大会でトライをとりたいです。

#### 県大会を振り返って

4年 濱田 昂輝

県大会に向けて、ずっとタックルの練習をしてきたので、1試合につき5回はタックルに行けるようにしたかったけれども、走り負けていたり、少しタックルに行くことをあきらめていたせいで、1試合につき、2、3回しかいけてなかった。だから、走り負けないために、走る練習をたくさんして、来年は負けているときでも、あきらめずに最後までタックルに行けるようにしたい。それから、タックルは5回じゃなくて、10回を目標に頑張りたいです。

#### 四年生県大会

4年 海老原 銀次

僕が県大会で一番頑張ったことは パスとタックルを頑張りました。  
グリーンAチームと試合した時は途中で鼻血でグラウンドから出てしまったけど、みんな頑張っていた姿を見れました。麻生は少しタックルが負けていたかな。グリーンとの差はあまりないからタックルをもう少し練習したらいい試合が出来たと思う。

#### 県大会を振り返って

小高 佑父 小高 聡

県大会お疲れさまでした。  
年を追うごとにラグビーらしくなると同時に、技術だけではなくラグビーに対しての理解・姿勢の重要性を感じました。  
そういった意味ではグラウンド外での活動も重要で、この点、親として何が出来るかこれから考えて、サポートしていきたいと思います。  
とりあえずJスポーツを契約しましたが、私一人で見ることが多く(私の休日の頼みが増えただけとの指摘あり)、どうやって一緒に見ることが出来るか、そこから作戦を考えて始めたいと思います。笑

## 3年生



### 「県大会を終えて」

3年チーフコーチ 伊藤 信一

この学年も3年生になり始めての県大会、7月の菅平夏合宿をやりきり、8月には海老名 G での県大会組合せ抽選と、気がつけばあつと言う間に9月28日の県大会初戦となりました。しかもこの初戦の会場は等々力陸上競技場と素晴らしい舞台を用意されての試合、なのにチーフは仕事のため残念ながら欠席。。。そんなんで始まった県大会でありました。

#### 【出場メンバー】

##### \* 麻生3年生 A チーム

PR: ゆうたろう、HO: こうしん、PR: じゅん、SH: しょうじ、SO: りょうせい、  
CTB: そうたろう、WTB: たつや

##### \* 麻生3年生 B チーム

PR: れんと、HO: かいと、PR: はるろう、SH: こうせい、SO: けんたろう、  
CTB: こうき、WTB: じょうじ/よしき

と人数ギリギリで2チームエントリーをして、対戦成績の方は、A チームは B ブロックで4戦4敗、B チームは G ブロックで3戦して1勝2敗と大変厳しい結果となりました。

結果は別として子供達を見ていて感じた事は、1 試合戦う毎に確実に逞しく成長していく姿でした。思い過ごしかも知れませんが顔つきが違って来てるんですね。この県大会の短期間でかなり成長したと思いますよ。

特に最終戦のホームグラウンド(日大稲城 G)での大和 CCRS との試合は印象的でした。春の交流大会、夏の菅平での練習試合とこれまで全く歯の立たなかった相手に前半立ち上がりはほぼ互角の戦いで、これはもしや行けるか！と思わせるほどの内容でした。終わってみれば大差で負けてしまったのですが、この最終戦は子供達の頑張りがかコーチ陣、父兄にも多くの感動を与えてくれました。感謝感謝です。そして、子供達のためにこのような舞台を準備・運営頂いた県競技部会のスタッフの方々、子供達の力を引き出し

てくれた対戦相手のチームの皆さまには感謝申し上げます。

また今回も多くのサポートを頂きましたご父兄、コーチの皆さまには感謝申し上げますと共に今後も引き続き宜しくお願い致します。来年こそは良い結果を残せる様に頑張っていきましょう！

### ピンチはチャンス？

3年コーチ 野村 文雄

三年生のみんな、初めての県大会、お疲れ様でした。

数々のピンチやチャンスを経験しましたね。その時に、普段の練習通りのことが出来ましたか？

どのように感じましたか？ 緊張しましたか？ ご両親やコーチの視線が痛かったりしましたか？

ピンチであってもチャンスであっても、普段通りの力を発揮することは大変なことです。

先日、キャロライン・ケネディさんが駐日米国大使として着任されましたね。

その記事を読みながら、父親であるジョン・F・ケネディ元大統領が発した数多くの名言の中の、一つを思い出しました。

When written in Chinese, the word 'crisis' is composed of two characters.

One represents danger and the other represents opportunity.

～漢字で“危機”という言葉は二つの文字で構成されている。ひとつは危険の「危」で、もう一つは好機の「機」。～

「ピンチはチャンス」「ピンチの後にチャンスあり」、このような言葉をよく聞くのは、ピンチの立場だけでなく、チャンスの立場においても、余計な力が入ったり、緊張してアガってしまい判断を誤ったりする危険性があるからなのです。ではどうすれば良いか？

とにかく自信をつけることです。

練習を繰り返し、セットプレーのパターンも反復し、体で覚えさせること、試合前に十分な準備をすることです。

自信を持って判断するために、ルールもしっかり覚えることが大事です。

そして何よりも、一生懸命プレイし、ラグビーを楽しむことです。チームの仲間と共に。

それでもこれからもまた、数々のピンチがみんなを襲うと思います。

「ピンチと考えるな。むしろ、チャンスなんだよ！」

大事な時に、みんなでこんな声をかけあうといいかなー、と思います。大きな声で。

来年の県大会まで、練習は40回程度、時間にすると約120時間。

このことは納会の時にも話しましたが、120時間しかありません。

限られた時間を有意義にするためには、一人で出来る練習は一人でやってきましょう。

チームプレイに磨きをかけ、来年はもっともっと勝ち試合を増やしましょう。

それから、ルールをまだまだ理解していない人が多いので、きちんと学習して来て下さいね。

試合に出る者のマナーです。

### 「くやしかったけん大会」

3年 佐々木 廉人

けん大会で何の役にもたてなかったから、こんどからタックルやオーバーをして、役にたちたいと思います。



### 「はじめての県大会」

3年 佐藤 祐太郎

1ばん心にのこったことは、さいごの大和とのしあいです。りゆうはがっしゆくではすごくてんさがひらいたけど、県大会ではそんなにひらかなかったからです。来年は勝ちたいです。

3年 石野 創太郎

夏合宿でボコボコにされた大和に県大会で少しでも対抗できて良かったです。これからもっと練習して足も速くし、タックルも強くなり、来年は必ず勝ちたいです。

### 「”イマイチ”だった県大会」

3年 楠元 隼

全部負けて、しかも、ボロ負けで、悔しかった。  
来年は優勝したいです。  
ボクもトライしたかった。(※父注 1試合目と2試合目、それぞれ、1トライしているのですが、すっかり忘れていたようです。)  
そのためには、練習をちゃんとします。チームワークで力を合わせて、がんばります。応援ありがとうございました。

### 「くやしい」

3年 菅田 光真

今年の県大会の1し合目でふじさわに負けたのがくやしかった。  
2し合目は横はまにタックルを全部かわされてトライをたくさんとられて負けたのがくやしかった。  
3し合目で田園にトライをたくさんとられて、せめてもボールをとられてトライされてまけたのがくやしかった。  
4し合目で強いやまとたたかって、点さが夏合しゆくとくらべて、ちぢめられたのがうれしかったけど、県大会で全ばいしたのが一番くやしかった。  
今年の県大会全部負けてくやしかったから、来年の夏合しゆくで対せんする相手と県大会で対せんする相手は全部ぶったおす！  
あと、タックルをもっと上手になるように練習をして、もっと強くなりたい。

### はじめての県大会

3年 卯月 快杜

ぼくは、はじめての県大会でした。ぼくは、3年のBチームでした。  
けっかは1回しかかてなかつたのでとてもくやしいです。  
来年の県大会は練習をいっぱいしてかちたいです。

### 「来年は頑張る」

3年 高橋 遼成

初めての県大会。四連敗で残念。  
ぼくは練習で武井コーチに教わったオーバーやパスもらう時にももらう人を抜かすことが出来てなかつた。  
じゅんくんがトライを決めたのにぼくはキックを決められなかつた。くやしかった。  
来年の県大会では練習でやったことをちゃんとやって連敗じゃなくて連勝したい

「来年は優勝するぞ！」

3年生 畑佐 健太郎

僕は県大会をやってくやしかったです。

なぜかという、3回試合をして、1回しか勝てなかったからです。

4年生の県大会では、スクラムからのブラインドで何回かトライをしたいと思います。

来年は優勝したいです。

「キック」

3年 斎川 春朗

今年、けん大会ではぼくはキッカーでした。さいしょキックがはいらなかったけど、れん習していっぱいキックが入るようになりました。

ヤマトとし合をした時、5本中4本入りました。

キッカーは楽しかったです。

3年生 石野 創太郎 父 石野 容資

今年の県大会では全敗でした。

他のチームも同じ小学3年生なので、麻生にできないわけがない。

他のチームとの差は努力、真摯な態度。この悔しさをバネに来年はきっと晴らしてくれるはず。

麻生のポテンシャルはきっと高いはず。

「くやしい！」は「うれしい！」

3年 菅田 光真の父 菅田 光平

3年生になって初めての県大会。結果は残念だったけど、みんな一所懸命頑張っていました。Aチームは全部負けてしまったけど、最終戦の大和との試合は見ていて本当にいい試合でした。夏合宿でコテンパンにやつつけられた同じチームとは思えない！

もうちょっとで勝てそうだったけど残念ながら負けてしまいました。くやしかったですね。涙が出るくらいくやしかったですね。

でもその「くやしい！」は「うれしい！」に変えることができるよ。チームみんな練習をしていっぱい強く上手になって来年の県大会は「くやしい！」を「うれしい！」に変えてしまおう！

今年の「くやしい！」があるから来年が「すごく楽しみ！」です。応援しています！がんばってね！

コーチの皆様1年間有難うございました！

県大会を終えて

3年 卯月 快杜 父 誠

3年生のみんな県大会お疲れ様でした。また、コーチの皆さんも大変お疲れ様でした。

初めてとあって親子ともども緊張のなか県大会に臨みました。

結果は残念な結果となってしまいましたが最終戦では、夏合宿の練習試合で圧倒的な差で負けていた相手にあと一步のところまで迫り、集中を切らずチーム一丸となって戦っている姿に感動とともに子どもたちの成長を感じることが出来ました。

来年がとても楽しみとなる県大会でした。

これからも熱いご指導よろしく願いいたします。

## 初めての県大会終えて

3年 斎川 春朗の母

普段練習以外ではとても元気な春朗。試合も練習もその時の気分次第のプレーが多くいつもヤキモキしていました。

県大会の試合は私は1試合しか見られませんでした。今までのことを思うとよく動いて頑張っていたんじゃないかと思います。

キックの練習も自分からやっていました。

チームの結果は、1勝2敗でしたが、最終戦翌日の練習試合ではチーム全員の前向きなプレーにとっても嬉しくなりました。(もうちょっと早く、県大会で出来れば笑)

なかなか入らなかったゴールキックもだいぶ入るようになっていました。

まだまだ不安定で楽しみな3年生、これからも頑張ってもらいたいです。

そして春朗は体だけでなく精神的にも大きくなってくれればなあと思っています。

## 2年生



(1列目左から)小坂龍平・中野竜之介・諸田章彦・中原侑温・河合真輝・  
大原琉来・本田翔太郎・川原稜平・野田航佑・小田部晃太  
(2列目左から)佐々木成己・熊谷コーチ・大坪コーチ・大原コーチ・近藤龍馬

### ミルキー交流戦を振り返って

2年チーフコーチ 大坪 功

秋の交流戦(9月22日・11月23日)は、8試合行い5勝2敗1分けという結果で終えました。カツカツ人数のなか1年生から助っ人を借りた事もありましたが、なんとか2チーム編成で戦い抜きました。リザーブもままならない状況で子供達は本当によく頑張ってくれました。

トライまで自信を持って走り抜けられる様になった子供、勇気を振り絞って体でタックル出来る様になった子供と個々の成長も著しく見えました。また、皆でボールを繋ぐ意識も試合を重ねるごとに出てきており、チームとしてもだいぶ機能してきました。何よりもラグビーを楽しんで出来ている事が素晴らしい！

しかし、7月のリコーカップで勝てた田園に惜しくも2敗。この負けは勝ちへのこだわりが薄れていたコーチの責任。追われる立場、相手は必死に倒しにくる、解っていないながら準備不足。反省です！来年は絶対リベンジしましょう！

来年からは7人制となりグラウンドも大きくなります。夏合宿にも本格参加となり、いよいよ県大会も始まります。これからはもっと皆でチーム盛り上げていきましょう！今まで以上に熱い声援を宜しくお願いします！

### コーチの最終年を迎えて

2年サブチーフ 大原広生

初めて麻生ラグビースクールを訪れたのは、息子の琉来が幼稚園にも入園する前だったので、かれこれ6年が経とうとしています。

それから今の2年生のコーチをずっと担当させていただきましたが、

遅くなった子どもたちを見て、非常に感慨深い思いを抱きます。

最初はみんな、すぐ泣いたり(今でも泣いていますが)、練習をしなかったり、試合でアタフタしたりボーッとしたり、

そんなことばかりでしたが、今では驚くような頑張りやプレーを見せてくれます。  
これからもそんな彼らのコーチでいたかったです、今後は少し遠くから応援していきたいと思います。  
みんな、がんばれ！！

#### トライいっぱいとれたぞ

2年 大原琉来

今年はいっぱいトライがとれました。  
リコーカップで優勝できたのがよかったです。  
来年は県大会なので、もっとトライをとりたいです。

#### ミルクィー大会

2年 小田部晃太

試合はとても楽しかったです。でも、鎌倉と同点で、田園に負けたことが悔しかったです。次は頑張って全部のチームに勝ちたいです！

#### 秋冬交流大会の思い出

2年 河合真輝

海老名での海老名ラグビースクール、藤沢ラグビースクールとの合流試合、どちらも勝って良かったけど、自分もタックル、トライができて楽しかったです。来年もがんばりたいです。

#### しあいに出て

2年 川原稜平

ぼくは2年生のしあいでは、トライすることができるようになった。いつもフォローにいて、みかたがとまったら後ろからおしたりボールをもらったりする。タックルも前よりはできるように思う。これから、いっぱいトライできるようがんばりたい。

#### 楽しかった交流試合

2年 小坂龍平

負けた試合もあったけど、楽しかったです。  
来年はタックルとトライががんばります

#### 思い出

2年 近藤龍馬

こないだの運動会が凄く楽しかった。もっと低いタックルが出来るよう頑張る。

#### 交流戦を振り返って

2年 佐々木成己

3年生になると試合がふえるので、もっともっとタックルをがんばってたくさんトライして、たくさん試合にかちたいです

#### 初めての大会

2年 中野竜之介

ラグビーの大会で、たくさんタックルできてよかったけど、いたかったです。

#### 交流戦を振り返って

2年 中原 侑温

いろんなチームと試合し、ともだちができてよかった。強いチームとの試合ですぐタックルができないから、次の試合からは相手がボールを持ったしゅんかんにつまみかきをしてタックルをしたい

#### 打とう田園 RS

2年 野田航佑

秋のこうりゅうせんで、ぼくはたくさんタックルをしてがんばったけど、田園 RS に負けてとてもくやしかったです。3年生ではぜったいにかちたいです。

#### 秋冬の交流大会の思い出

2年 本田翔太郎

2年生になって、たくさん試合に出れてよかったです。他のチームにも友達がいるのでたくさん練習してがんばりたいです。

海老名での交流試合でも、みんなで力を出してがんばれたので、3年生になったらもっと試合に出てがんばりたいです。

#### 強烈な低いタックル！

2年 諸田 章彦

試合でいいと思えるタックルができて、うれしかったです。もっといいタックルができるように、これからも練習がんばります。あと足が早くなるようランニングもがんばりたいとおもいます！

#### 海老名での秋期交流戦を観戦して

2年 河合真輝 父

当日は担当する幼稚園の試合がなかったため、夏のリコーカップに続き今年2回目の試合観戦となりました。

夏と比較して大きく成長しているスクール、伸び悩んでいるスクール、2年生ともなるとはっきりと差が見えてくる事を感じました。

我が息子は、前を向いてプレーし、一生懸命に相手に向かって行っていたと思います。チームの中の貢献度合いはまだまだだと思いますが、今の気持ちを忘れずに、少しでも長く仲間と一緒に続けられるよう、親としてサポートしていきたいと思います。

2年生コーチの皆様、引き続き熱いご指導をお願い致します。

#### 交流戦を振り返って

2年 本田翔太郎 母

相模原、海老名での秋冬の交流試合では、子供達の日頃の練習の成果を発揮し、真剣に試合をする姿に感動しました。

## 1年生



### 秋の交流戦を終えて

1年生:原田 泰治

早いもので、今年も残すところ1ヶ月余りとなりました。

毎年この時期は、3年生以上であれば秋の県大会を終え、一息つきながら県大会を振り返り、来年に向けた準備を始める時期かと思えます。

1年生に関しては、県大会は有りませんが、自らの腕試しの場であります各スクールとの交流試合を終え、保護者の皆様と一緒に少し落ち着いた頃かと思えます。

今年の1年生は例年通りに個性豊かな子供達で、それぞれが得意とするプレーを持っているのですが、十分に引き出す事ができず、申し訳ない気持ちで一杯です。

特に、走る事が得意な子はボールをキープしながら右に左に走り回れる事が出来るのですが中々なトライに結びつかなかったり、押す事が得意な子はモールでは押し込んではいれるものの中々ボールが奪えなかったり、非常に惜しい場面が幾つもありました。

ただ、交流戦後半からは、普段、2年生の胸を借りて練習や試合を行っているせいか、仲間同士のつなぎのプレーが少しずつ上手く行くようになり、ボール支配率は随分と向上してきているようです。

来年は、少しずつできるようになってきたつなぎの意識を忘れずに今の得意なプレーに磨きをかけ、1学年上のお兄さんたちとの試合でも何本かトライが取れる事を期待しています。

また、保護者の皆様へお願いですが、是非とも一人でも多くのお友達をお誘い頂き、グラウンドに足を運んで頂けます様、リクルート活動のご協力をお願い致します。

来年は各スクールとしても県大会を見据えたプレーを取り入れてくる時期です。まずは安全を第一に考える方針に変わりはありませんが、更なる子供たちの成長に向かって、引き続き麻生RS最大の強みであります『三位一体』でのご支援、ご協力の程、宜しくお願い致します。

2019年と2020年

1年コーチ 宮澤 秀毅

2019年は日本でラグビーワールドカップが開かれます。  
また、2020年オリンピックも東京に決まりました。ラグビーは7人制が正式種目になります。  
今の1年生は2019年には中学1年生。日本代表には早すぎますが、世界レベルのプレーを見て、多くの子供たちが、その後のワールドカップやオリンピックを目指してほしいですね。

所感

1年コーチ 牛山健太郎

現在1年生は8名、可愛い盛り幼稚園チームを卒業してもうすぐ1年。  
まだまだふざけてばかりのお子ちゃま軍団だけど、素直ないい子ばかりで週末の稲城グラウンドはいつも楽しみです。  
子供たちは本当に可能性のかたまり、良いところをたくさん見つけて褒めて伸ばしてあげたい。  
数多くボールに触ること、パスやタックルなどの基本スキルの反復、ボールゲームとしてのルール、チームスポーツとしての楽しみや悔しさ。そして前に出る勇気。思うようにいかないことも多いけれど、いろんなことを一緒に楽しむ中で伝えたい。  
子供たちにとって限られた時間、多くの選択肢からラグビー、麻生RSを選んでくれてよかったと思えるように。  
ミニコーチの端くれとして頑張りたいと思います。

トライの悲しみと喜び

荒木 鷲摩

今まではあまりトライできなかったから、海老名でのミルクiefestaでの試合で、合計5回もトライができて嬉しかった。あと、これまで試合の練習で、マイボール、ダウンボール、というのが意味がわからなかったけれど、それ今回はじめてわかって嬉しかった。試合では相手チームはとっても強そうに見えた。でも横浜RSにトライされた時は悔しかった。

ぼくとアサオラグビースクール

1年 うしやまそうし

アサオラグビースクールは、からだがじょうぶになります。ともだちもいて、一しゅうかんに一かいしかあえないから、さびしいです。  
でもあえたときは、たのしいです。トライしたときは、とってもうれしいです。つかれるけどたのしいです。トライをとられたり、まけたりすると、くやしいけど、かつと、とってもたのしいです。これからもがんばります。

交流戦・ミルクiefestaを振り返って

1年 片岡 祐貴

ミルクiefestaはボールとりやおにごっこがあったたのしかったです。  
あとえびなの試合で初めてトライがとれてうれしかったです。またトライできるように頑張りたいです。

児玉 瑛都

相手が強いと、なかなかタックルが決められなかったの、これからは、どんな強い相手でもタックルしていきたいです。

中村和樹

交流大会、ミルクiefesta、ミルクiefesta大会は、たくさんのお友達と試合が出来て楽しかったです。  
もっと練習して、トライをもっと沢山できるようにしたいです。



## トライ

1年 ひかさあつと

しあいではじめてトライをとれてうれしかったです。  
たくさんれんしゅうして、これからもたくさんトライをとりたいです。

渡邊柁也

僕は、ラグビーはタックルしたりボールを取るときにぶつかったりすると、痛いので、嫌な気持ちになってしまいます。そうすると、ラグビーやりたくないなと思ってしまいます。でも、友達と一緒に練習していると、いつの間にか楽しい気持ちになります。だから頑張っていこうと思います。

## 交流戦を振り返って

1年 片岡 祐貴 父

4月に入校してから半年余り経ちました。その間、子供にとっては練習・試合等で慣れないことの連続だったと思いますが、本人は日曜日にラグビーに行くのが楽しいようです。

秋の交流戦ではボールに絡めたり、ボールを持った時に横や後ろに流れず、前に出るプレーが少しではありますが見られるようになり、親としては嬉しく思います。

最後にコーチの皆様、いつも熱心にご指導いただきありがとうございました。

1年生の期間は残り少なくなってきましたが、引き続きご指導の程、宜しく願い致します。

## キンダーカップ 初優勝 おめでとう！！

幼稚園コーチ 牧野 義之

キンダーカップ初優勝おめでとうございます。

本当に子供たちはがんばりました。

麻生ラグビースクールの校歌の通り、よく走り、よく押し、相手を倒し、激しいタックルで、トライを量産し、見事に優勝できました。

日頃の練習の成果をフルに発揮すると同時に、幼稚園生とは思えない集中力で相手にたち向かえたことは、とても素晴らしいと思います。

この勝利を心から喜び、子供たち、そして指導者であるコーチの自信を一層深め、麻生ラグビースクールの次世代の礎になればよいと思います。

幼稚園コーチの皆さん、ご苦労様でした。

ようちえんチームのみんな！！

すばらしい プレーをみせてくれて ありがとう！！

そしてゆうしょう ほんとうに おめでとう ！！！！

おめでとう！！

幼稚園コーチ 菅田光平

やまとキンダーカップゆうしょうおめでとう！！

ねんちようさんみんなかっこよかったよ！

トライもタックルもみんなでしっかりできていたね！

1ねんせいになってもいっぱいれんしゅうしてゆうしょうめざしてがんばろう！

ねんちゆうさんはこんどはいちばんおにいちゃんになるので、コーチやおとうさん、おかあさんのいうことをよくきいて、たのしくラグビーをしよう！おともだちたくさんできるといいね！

コーチの皆様、ご父兄の皆様一年間ありがとうございました！

ありがとう

幼稚園コーチ 吉田 大輔

キンダーカップゆうしょうほんとうにおめでとう！！

しあいのときみんなのかおほんとうにかっこよかったよ。

みんながまえにでて、たつくるができていたのがかっこよかったよ。

みんながかっこいいプレーがみせてくれて、ほんとうにうれしかったよ。ありがとう。

らいねんは1ねんせいになるけど、みんなでまたゆうしょうめざしてがんばれ！

ねんちゆうのみんなも、らいねんまたキンダーカップでゆうしょうできるようにれんしゅうがんばろうね。

うれしかった！

年長 すげた あおい

やまとキンダーカップにでて、3しあいにかててうれしかった。

でもメダルがほしかった。

タックルしてうれしかった。

トライできそうだったけどできなかった。

でもゆうしょうしてうれしかったよ！

はじめての優勝

年長 笹崎 善太朗

お父さんがやっていたラグビー。

はじめは、ルールもわからなかった。コーチにいわれるまま。

でも友達もできて、ラグビーがたのしくなってきた。

優勝もできた。

オリンピックにでるぞ。

タックルいっぱいしたい

年中 内田 昂希

もっと強くなりたい。あしがはやくになりたい。そしてタックルいっぱいしたい。

ゆうしょうしたい

年中 吉田 悠真

らいねんはねんちようになってキンダーカップにでてゆうしょうしたい。

じゃんけんたいかいでかっておもちゃもげつとしたい。

ラグビーを始めて早2年

年中父母 内田 昂希 父

最近になってようやくルールや動き方もわかってきてラグビーを楽しんでいるようです。毎週自分から積極的にラグビーの練習に向かうようになりましたし、うちでもいいタックルが出来るようにとよく相撲を挑んでくるほどです。これからも練習頑張ってラグビーを好きになっていって欲しいです。

優勝おめでとうございます！

年中父母 長江 祐太郎 母

年長さんが優勝目指してみんなが気持ちをひとつにして闘っている姿を見てとても感動しました。一人ひとりが目標をもって目をキラキラ輝かせている姿はとてもかっこよかったです。年中の息子も来年にはぜひそ  
うなっていてほしいと思いながらみておりました。

2013 県大会試合記録

		9/28	10/6	10/14	11/4
<b>Aブロック</b>	<b>勝敗</b>	<b>横須賀A</b>	<b>横浜A</b>	<b>グリーン・YC</b>	<b>田園A</b>
<b>6年</b>	1-3	14●49	7●82	35○22	7●63

4位

		11/17	10/14	9/28	11/4
<b>Cブロック</b>	<b>勝敗</b>	<b>鎌倉B</b>	<b>グリーン</b>	<b>横須賀B</b>	<b>田園A</b>
<b>5年A</b>	3-1	33○21	28○12	28○14	21●28

準優勝

		10/28	10/14	11/4
<b>Eブロック</b>	<b>勝敗</b>	<b>藤沢C</b>	<b>YC</b>	<b>横浜C</b>
<b>5年B</b>	2-1	38○28	49○5	19●35

準優勝

		11/4	10/6	11/3	9/28
<b>Aブロック</b>	<b>勝敗</b>	<b>横浜A</b>	<b>YC</b>	<b>大和A</b>	<b>グリーンA</b>
<b>4年A</b>	1-3	7●61	51○5	14●50	0●63

4位

		9/24	11/4	11/3	10/6
<b>Hブロック</b>	<b>勝敗</b>	<b>茅ヶ崎</b>	<b>田園B</b>	<b>横須賀A</b>	<b>横浜C</b>
<b>4年C</b>	1-3	40○17	7●47	0●84	28●35

3位

		10/6	10/14	9/28	11/4
<b>Aブロック</b>	<b>勝敗</b>	<b>横浜B</b>	<b>田園B</b>	<b>藤沢A</b>	<b>大和B</b>
<b>3年A</b>	0-4	10●76	0●56	24●56	7●35

5位

		10/6	10/14	11/3
<b>Cブロック</b>	<b>勝敗</b>	<b>横浜F</b>	<b>田園C</b>	<b>鎌倉C</b>
<b>3年B</b>	1-2	74○5	15●80	12●66

3位

練習試合

11/17

川崎

30○15

ゴールキック

無

練習試合

11/3

横須賀B

49○10

11/4

横須賀D

33●43

大和ミルキーフェスティバル

11月10日(日)@セシリア G

年長 CUP 戦

麻生 ○45 - 0 ●川崎市

麻生 ○25 - 15 ●茅ヶ崎

麻生 ○30 - 15 ●藤沢

年中交流戦

麻生 ○35 - 10 ●みなと

麻生 ○25 - 15 ●横浜 A

麻生 ●25 - 40 ○藤沢

海老名ミルキー大会、

11月23日(土祝)@海老名競技場

[1年生]

麻生 ○45-25● 大和B

麻生 ○55-10● 横浜B(女の子)

[2年生]

麻生A △40-40△ 鎌倉A

麻生B ○80- 5● 海老名A

麻生A ● 5-40○ 田園A

麻生B ○50-25● 深沢D

## 編集後記

県大会は勝つことのみが目標ではないですが、努力すれば勝てるし、手を抜けば負ける。対戦相手も一生懸命練習している。今のままでよいのかという危機感をスクール全体で共有していきましょう。

来年の大会に向けて、コーチ達は強化方針を練り、子供達は権大会の反省をどう生かすかを考え、父母たちは子供たちやコーチ達を叱咤激励してください。スクールとして、もう一歩大きく前進しましょう。

(編集長 毛利)

今回は突貫工事となり編集全体にご迷惑をおかけしました。次回は『倍返し!』で頑張ります。

(2年 原田)

---

麻生リトルラグーマン NO. 98

発行日／平成 25 年 12 月 27 日

発行者／三浦 幸宏(042-331-6548)

編集長／毛利昌康(044-987-9063):E-メールアドレス [masayasu@delight-net.com](mailto:masayasu@delight-net.com)

副編集長／野田卓人

編集委員／小松正巳・室井秀夫・猪越咲太・木下義之・津国秀一・實方恵太・田中孝太郎・吉田大輔

表紙題字:元全日本監督 日比野弘氏 ホームページ <http://asaors.com/>